

件名：感染症情報（マダガスカルにおけるペストの発生について）

【ポイント】

- 報道によれば、ARIVONIMAMO（首都中心部から約50km西）において肺ペストの発生が報告され、同地区は封鎖されています。
- 9月2日現在6名が死亡し、22名が入院中です。
- ネズミがいるような不衛生な場所へは行かないこと、ノミに刺されないよう注意することが重要です。
- 肺ペストが流行している地域には立ち入らないでください。

【本文】

マダガスカルでは8月から翌年4月までの間、ペストの流行期になります。今年は、ARIVONIMAMO地区（首都中心部から約50km西）において8月25日に肺ペストの発生が報告され、直近3日間は新規の感染者は報告されていませんが、9月2日現在で6名が死亡し、22名が入院中です。現在同地区は検問が設置され、封鎖されています。

ペストはペスト菌による感染症で、ペスト菌に感染したネズミに寄生しているノミが媒介します。ネズミがいるような不衛生な場所へは行かないこと、ノミに刺されないよう注意することが重要です。また、肺に感染すると患者の咳によって、人から人へうつります。肺ペストが流行している地域には立ち入らないでください。肺ペストは早期に治療を開始することで治癒が可能な病気ですが、治療しなかった場合の致死率は100%です。突然の発熱、頭痛、悪寒、激しい倦怠感、リンパ節腫脹、血痰を伴う咳などの症状が見られた場合には、直ちに信頼のおける医療機関で受診してください。

今後も新聞、ニュース、インターネット等からの情報収集に努めていただき、自らの身体の安全の確保に留意してください。

◎ペスト情報HP：

厚生労働省検疫所FORTH 感染症についての情報 ペスト

<http://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name37.html>